

会員の広場



はじめての入院

荒川 太（東京）

昨年初めて入院、手術を経験した。これまで、飲み過ぎ、太り過ぎのきらいがあったものの、病院とは無縁であり、土曜日に風邪を引いても月曜日には仕事に行くという病院とは無縁の人生だった。ところが、一転、勤務先の健康診断の結果、心電図に異常が発見さ

れ、健康診断の僅か3日後に急遽手術、入院となった。病名は急性心筋梗塞でカテーテルによる手術は部分麻酔で行う為、医療スタッフの緊迫感が直接伝わってくる。私の額からは汗が止まらない、人生で初めて死を覚悟したような気もするが、僅か1時間ぐらいで無事手術は終わった。

その後、1年間で四度に渡る手術を受ける羽目に。手術をしなければならなかったのは、私の体質なのか、術後8か月のカテーテル検査で最初の手術で冠動脈に挿入したステントの中に狭窄が発見されたからだ。コレステロールが溜まりやすい体質なのだろう、心電図や血液検査では異常は見られなかったのに、血管の中は詰まっていたのだから、次回の検

査で狭窄が出ないことを祈るばかりだ。そのため、これまで以上に体重を気にするようになった。

そして、このような経緯からダイエットに大成功。学生時代の体重に限りなく近くなった。何せ、社会に出て1年で70キロ、10年で80キロとなった体重が60キロ台に戻るとは、想定外、これも栄養指導の先生のお陰だ。いつの間にかメタボ検査にクリアするまでウエストが細くなった。塩分を1日6グラム以下にしると言われ、忠実に守っているのが、良かったのだろう。具体的には、ラーメン、そば、うどんは一切食しなくなった。味噌、醤油、塩も厳禁、味付けは塩を含まないコシヨウ、酢、ワサビなどに頼っている。5年前か

ら通っている体験農園で作っている野菜の美味しいこと、採りたて野菜を蒸し野菜にしてレモン酢で食するのが常となった。

これだけ、手術を繰り返していると医療費が大変のように見えるが、高額医療費制度のお陰で僅かな自己負担で済んでいる。むしろ医療保険の給付金を頂いた分だけお釣りがあった。有難いことではあるが、チョット複雑な感じがする。一方、困ったことは、手続き中の住宅ローン、団体信用保険の付保を断念したことだ。無理すれば、加入できたようであるが、万が一の時に保険が出るか出ないかで家族に負担をかけたくなかった。生命保険に入らなくても住宅ローンが組める仕組みが残っていて助かった。